

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	エイズ予防対策				シート番号	011-230
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	感染症対策	課 評価責任者(課長名) 中井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 61 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和60年3月に最初の事例が報告され、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び国の「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針(以下、エイズ予防指針という。)」が策定されたことに基づき、昭和61年から当事業を開始し、エイズを発病するHIV感染症の対策を講じてきた。対策の一つであるHIV検査においては、これまで検査結果がその日のうちに判明する即日検査や夜間の検査を実施することで受検者の利便性を高め、受検者数の増加に取り組んできた。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	全市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市民に対してHIV/エイズの正しい知識を普及啓発することで、HIV感染のまん延を防止し、患者に対する差別や偏見をなくす。また、HIV検査・相談の機会を提供することにより、陽性者の早期発見、早期治療につなげるとともに、更なる感染の拡大を防止することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<input type="checkbox"/> 検査・相談体制 ・通常検査 各保健センターにて月1回実施 ・夜間検査 サンスクエア堺にて奇数月1回、6月の性感染症予防月間及び12月の世界エイズデーに合わせて各1回 実施(保健センター輪番制) ・休日即日検査 サンスクエア堺にて月1回委託実施(令和元年6月から12月まで) ・平日即日検査 堺市保健医療センターにて偶数月1回実施 <input type="checkbox"/> 知識の普及啓発 ・性感染症予防月間および世界エイズデーに関するパネル展示等による予防啓発を実施 ・啓発の一部は、大阪府及び保健所設置8市(大阪市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・堺市)で組織されるエイズ予防週間実行委員会にて共同実施 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター、エイズ予防週間実行委員会				

Ⅲ. 投入量

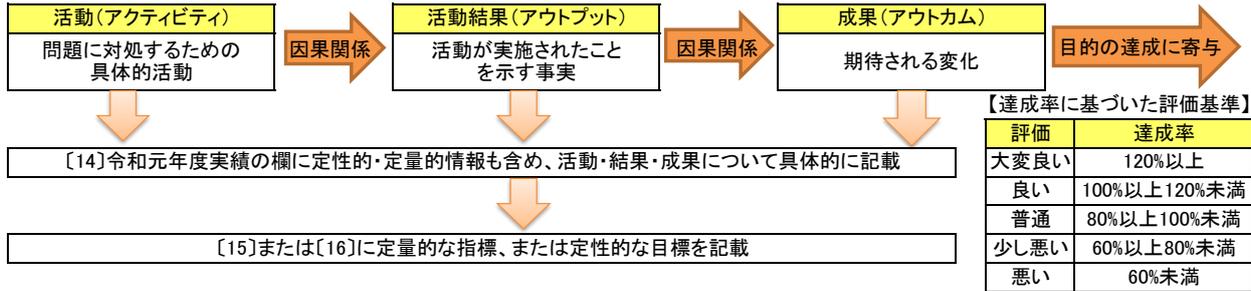
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	4,961	5,021	5,923	5,046	5,103	3,423	5,610	
	主な事業費内訳	委託料	千円	2,931	2,776	2,667	2,361	2,247	1,377	2,787
		その他(需用費等)	千円	3,009	2,245	3,256	2,685	2,856	2,046	2,823
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円	1,663	1,157	2,299	1,743	2,102	1,320	2,097
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他(雑入)	千円		28					
		一般財源	千円	3,298	3,836	3,624	3,303	3,001	2,103	3,513
	12	人件費 (b)	千円	7,380	7,380	8,200	8,200	8,270	8,100	8,200
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	12,341	12,401	14,123	13,246	13,373	11,523	13,810

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	エイズ予防対策	シート番号	011-230
-------	---------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	○検査・相談体制 令和元年度は通常検査を各保健センターで92回、平日即日検査を堺市保健医療センターで6回、夜間検査をサンスクエア堺及び保健センターで計8回実施した。 また、土曜日に検査を実施する休日即日検査を、特定非営利活動法人HIVと人権・情報センターに委託し6回、保健所直営で1回実施した。 計118回の検査で受検者数の合計は989名と、前年度実績の85%にとどまったが、前年度は風しんの流行にともなって、保健センターで風しんの抗体検査と同日に実施しているHIV検査の受検者数が増加したことや、エイズで亡くなった著名人をテーマにした映画のヒットなどの突発的な要因で受検者数が大幅に伸びたというところがあり、単純に前年度の実績と比較することはなじまないと考えられる。平成29年度の実績と比較すると、検査の実施回数は減っているものの受検者数は増加しており、1回あたりの受検者数が伸びていることが分かる。 検査日程の周知については、堺市広報紙、堺市ホームページや、全国的にHIVの検査実施情報が検索できるウェブサイト「HIV検査相談マップ」への情報掲載などを行っており、中でもインターネット媒体での広報は、受検者のアンケートでも検査を知ったきっかけとしてよく挙げられているところである。 また、HIV検査の事前相談や結果返しの際には、保健師がHIV/エイズに関する質問、相談に応じており、面接技術の向上のため、外部の研修にも積極的に参加している。 ○知識の普及啓発 6月の性感染症予防月間と12月1日の世界エイズデーに合わせ、市役所本館及び各保健センターにおいてパネル展示を実施したり、年間を通じ外部から提供を受けたさまざまな冊子等を配布、配架しており、また世界エイズデーを含む日程(11月28日から12月26日)で市役所本館エントランスへ、HIV/エイズへの理解と支援の象徴であるレッドリボンをあしらった大きなタペストリーを掲示するなどし、意識啓発を行っている。 大阪府及び府下保健所設置市8市からなるエイズ予防週間実行委員会では、自治体をまたいだ協力による広域的な事業を実施している。 例年、御堂筋オータムパーティーなどのイベントに合わせた啓発も行っているが、今年度は活動中に着用するためのイベントブルゾンを作成した。無料、匿名で受けることのできる検査に、もっと気軽に、気負わず来てほしいという思いを込めて実行委員会からアイデアを出し、ブルゾンの背面に「ほないこか、HIV検査。」のフレーズを入れるなどした。 また、多くの方にHIV/エイズについて身近なものとして考えてもらうための取り組みとして、堺市民も多く利用するJR天王寺駅及び大阪駅で11月25日から12月1日の期間中、ディスプレイに広告を表示できるデジタルサイネージへ啓発広告を掲載した。					
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	通常検査・即日検査・夜間検査実施回数	目標値	回	120	120	120	120
		実績値		121	118	118	
		達成率		101%	98%	98%	
		評価		良い	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		通常検査 各保健センター月1回 夜間検査・即日検査それぞれ月1回。イベント開催時				
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	HIV抗体検査受検者数	目標値	人	754	731	1,168	989
		実績値		731	1,168	989	
		達成率		97%	160%	85%	
		評価		普通	大変良い	普通	
	算出方法・設定根拠など		前年度実績を翌年度目標に設定				

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	① 通常検査・即日検査・夜間検査実施回数	回	121	118	118
	② 上記①にかかる年間経費	千円	3,362	3,184	1,510
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	27,785	26,983	12,797
備考(算出についての説明等)					
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	① HIV抗体検査受検者数	人	731	1,168	989
	② 上記①にかかる年間経費	千円	3,362	3,184	1,510
	③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,599	2,726	1,527
備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	○検査・相談体制 突発的な要因により受検者が爆発的に増加した前年度と比べ、検査実施回数については少し落ち着いた形となるが、その前の平成29年度と比較すると増加傾向にあるとも考えられる。 平成30年度から継続して、交通の便の良い会場で実施できていることも大きな要因として考えられるが、アンケートの結果では、堺市ホームページなどインターネットから検査を知った方が多く、周知の方法が適切であることも一因であると思われる。 ○知識の普及啓発 啓発については、性感染症予防月間や世界エイズデーに合わせたものを中心に、大阪府全域の取り組みも取り入れながら年間を通して計画的に事業を実施できており、一定の効果を上げている。

- 【分析のチェックポイント】
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	エイズ予防対策	シート番号	011-230
-------	---------	-------	---------

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<p>事業廃止の可能性</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止できる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない</p>	<p>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</p> <p>本事業は、厚生労働省の「エイズ予防指針」に基づき、HIV/エイズの発生の予防及びまん延の防止のために、国と都道府県、保健所設置市等が取り組むべき事業である。 検査・相談体制の充実や啓発活動については、上記の事由により全国的に実施されている事業であるため、廃止に至った場合、検査・相談の機会が失われたり、検査の内容や日程、感染症の基礎知識などを知らず限られるなど、堺市民のみが突出して不利益を被ることになる。 また、啓発の機会がなかったり検査を受ける機会がなければ、HIVに感染している方が知らずに感染拡大させることでまん延する可能性がある。 加えて、抗HIV薬は高額であるため、陽性者が増えることによる医療費の増大も懸念される。</p>
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<p>事業休止の可能性</p> <p><input type="checkbox"/> 休止(延期)できる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない</p>	<p>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</p> <p>HIVに感染してからエイズを発症するまでにはある程度期間があり、早期に治療を開始することで発症を防ぐことができる。 このため、発症前に感染の有無を調べる唯一の手段である検査の機会を常に充実させ、できるだけ多くの市民に検査を受けてもらう必要があり、長期の休止はできない。 また、上記のようなHIV/エイズに関する知識や、検査・相談の機会があることなどを周知するために、啓発についても合わせて実施していく必要がある。</p> <p>休止の場合の再開時期</p> <p><input type="checkbox"/> 令和2年度中</p> <p><input type="checkbox"/> 令和3年度</p> <p><input type="checkbox"/> 令和4年度以降</p>
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<p>コストの縮減</p> <p><input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる</p> <p><input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる</p> <p><input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる</p> <p><input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない</p>	<p>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</p> <p>国の予防指針により「無料・匿名」での検査及び相談の機会を充実させることとされているため、単に検査の規模を縮小することでのコスト縮減は全国的な流れに逆行する。 HIV/エイズの知識普及、意識啓発においては、個別施策が必要なMSM(男性と性行為を行う男性)や、若い層へのアプローチが重要となるが、これまで該当の層へは、エイズ予防週間実行委員会の取り組みとして、MSM向けアプリへの広告掲出や府下主要駅でのデジタルサイネージなど、それぞれの興味関心に合わせた方法を実施してきた。 しかしながら、それらはコストのかかるものが多いため、本市単独の予算では難しいものが多い。 府下自治体一体となつての取り組みを進めるなど、今後も効果的な啓発方法について検討していく。</p>
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<p>事業手法の適切性</p> <p><input type="checkbox"/> 改善する必要がある</p> <p><input type="checkbox"/> 改善する必要がない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている</p>	<p>改善する場合は改善策、その他は理由</p> <p>検査の実施にあたっては、受検者の検温、相談室へのビニールシートの設置や室内の常時換気などを行っている。 HIV検査では、従来からプライバシーへの配慮のため、待合スペースでできるだけ顔を合わせないような対策を行っているため、密になる状況はほとんどない。</p>
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	<p>効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は<input checked="" type="checkbox"/>、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は<input type="checkbox"/>)</p> <p>① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進</p> <p>② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 関係部署名() 関連事業名()</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> その他()</p>	<p>理由・説明</p> <p>例年休日即日検査を委託していた特定非営利活動法人が令和元年度中に法人解散し、他に休日の検査・相談業務を実施できる機関がないか検討中である。 特に検査実施においては、医師や看護師、カウンセラーなど専門職の人員が出務可能なことや、検査の手法、相談の際の面接技法などに習熟していることが求められるため、公のみでの実施には人員の限界があり、従来の体制に戻すためには連携が必要である。</p>
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<p>事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充</p> <p>公金投入の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大</p> <p>実施年度</p> <p><input type="checkbox"/> 令和2年度</p> <p><input type="checkbox"/> 令和3年度</p> <p><input type="checkbox"/> 令和4年度以降</p>	<p>所見</p> <p>エイズの感染状況や検査ニーズを注視して、必要となる検査・相談体制を整備していく。</p>	